

	学 校 名	児童数の推移(年度毎)											統 合 計 画	
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		H31
全校児童数 30名程度	来 浦 小 学 校	28	32	34	26	28	25	22	13	8	8	6	6	富来小との統合
	大 恩 小 学 校	26	22	17	15	10	9	6	7	6	5	6	6	富来小との統合
	豊 崎 小 学 校	24	27	27	28	26	23	19	16	15	10	6	6	国東小との統合
全校児童数 50名程度	竹田津小学校	43	42	45	37	35	36	33	34	33	33	32	伊美小との統合	
	熊 毛 小 学 校	53	50	56	53	46	42	34	34	28	29	27	26	伊美小との統合
	武蔵西小学校	56	52	43	37	38	31	30	30	29	30	27	26	武蔵東小との統合

※児童数は、平成27年度以降は推定児童数

国東市立小学校の 教育環境整備計画

「全校児童数30名程度の小学校は、積極的に統合を図る」と答申にあったように国東市内の小学校では、今の児童数の推移では5年

校、中学校では、園児・児童・生徒数の減少が著しく、本来ある学校教育機能が十分発揮しにくい環境になっており、次代を担う子どもたちの教育及び教育環境の整備を考えると、より望ましい集団生活のなかで多様な人間関係や集団のルールを学び、社会性を高めるとともに、自らの個性や能力を伸ばすことができる適正規模の学校(園)づくりが重要となります。

平成20年度国東市内の小学校(15校)では、8校に複式学級があり、うち5校は2つの複式学級を抱えています。児童数が減少傾向の中、5年後、10年後の児童数の推移を見据えて、国東市学校教育審議会の答申を最大限に尊重した学校の適正規模・適正配置の基準を定めました。

なお、適正配置については、近くの学校との統合を基本として、通学区域の状況、学校間の距離、地域の特徴、将来動向などを見極め、校舎の老朽改築時期も考慮して、学校規模の適正化を図るものとします。

以内に全校児童数が30名を割るか、現時点で30名を割っている小学校は国東町の来浦、大恩、豊崎の3小学校です。この3校については平成23年度に3校ともに30名を割りますので、地元の合意を得ましたら3校同時に平成23年度に来浦、大恩小学校は富来小学校との、豊崎小学校は国東小学校との統合を図りたいと考えています。

「全校児童数50名を割り込む小学校並びに、今後10年間で児童数が30名程度になる小学校は、統合を検討する」

これに該当する小学校は、竹田津、熊毛、武蔵西小学校です。3校ともに平成24年度より全校児童数50名以内となるので、平成24年度より保護者アンケートや地元説明会等を行い統合に向け検討を開始します。竹田津、熊毛小学校は伊美小学校との、武蔵西は武蔵東小学校との統合を図りたいと考えています。

統合する学校の教育環境の整備については、施設・設備面の改善及び教材等の充実を図り、耐震補強等の整備を行います。

通学路の安全確保については、児童の安全・安心な通学方法を検討します。

国東市立幼稚園の 教育環境整備計画

学校教育審議会の答申では、園児数の少ない幼稚園と公立の保育所との幼保一元化を示唆しています。入園資格も均一でない問題点もあり、少子化の進行、育児サービスの多様化に伴って生じる幼稚園と保育所の問題を解決すべく「国東市公立幼稚園・保育所等あり方検討委員会」を今年度設置し、その結果を受け国東市立幼稚園の教育環境整備計画を作成します。

国東市立中学校の 教育環境整備計画

本年4月1日国東町4中学校が統合し、各町1校の市内4中学校となり、教育環境は保たれていると考えています。

この計画の実施にあたっては、学校が地域で果たしてきた役割や地域事情に十分配慮し、地元関係者や学校と協議するとともに、地元説明会を開催し、地域の方々のご理解を頂き進めていきます。

※計画の詳しい内容は市ホームページをご覧ください。

(URL: <http://web.city.kunisaki.oita.jp/>)
問い合わせ 教育委員会教育総務課
0978-17310066